

IRミーティング

2017年3月期 第2四半期決算概要

科研製薬株式会社

2016年11月8日

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです

注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

2017年3月期 第2四半期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2016年3月期 4-9月実績	2017年3月期 4-9月実績	増減	前期比 (%)	
売上高	54,973	52,179	▲2,793	94.9	<ul style="list-style-type: none"> • 5.1%の減収 ・薬価改定の影響 ・エンピナーズ販売中止 ・Jublia関連収入の減少
営業利益	18,443	16,123	▲2,319	87.4	<ul style="list-style-type: none"> • 原価率はほぼ変化なし ・42.6% → 42.7%
経常利益	18,573	16,238	▲2,335	87.4	<ul style="list-style-type: none"> • 販管費: 13,774百万円 研究開発費: 3,627百万円 (前期: 2,965百万円)
税引前 当期利益	18,523	16,173	▲2,350	87.3	
第2四半期 純利益	12,483	11,446	▲1,037	91.7	<ul style="list-style-type: none"> • 中間配当は75円

連結貸借対照表

借方

貸方

(百万円未満切捨)

	2016年 3月期末	2016年 9月末	増減		2016年 3月期末	2016年 9月末	増減
流動資産	88,991	87,134	▲1,856	流動負債	33,861	28,224	▲5,636
固定資産	43,999	44,513	513	固定負債	9,255	8,686	▲568
資産合計	132,991	131,648	▲1,343	負債合計	43,116	36,911	▲6,205
				純資産合計	89,875	94,736	4,861

主な内容 (百万円未満切捨)

- ◆資産 現金及び現金同等物：38,562百万円
- ◆負債 有利子負債：3,875百万円
- ◆純資産 利益剰余金：76,826百万円（+8,217百万円）
自己株式：19,807百万円（+3,506百万円；純資産の減算項目）

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2016年3月期 4-9月実績	2017年3月期 4-9月実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,551	5,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,754	▲2,151
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,821	▲6,729
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,742	38,562

- ※ 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前四半期純利益: 16,173百万円
- ※ 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得: 1,247百万円
- ※ 財務活動によるキャッシュ・フロー
自己株式取得額: 3,506百万円
配当金支払額: 3,223百万円

売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	2016年3月期 4-9月実績	2017年3月期 4-9月実績	増減	前期比 (%)
医療用医薬品・医療機器	45,966	44,518	▲1,447	96.9
農業薬品	2,080	2,384	304	114.6
不動産賃貸料	1,178	1,190	12	101.0
その他	5,747	4,085	▲1,661	71.1
Jublia関連売上※	3,474	1,331	▲2,143	38.3
合計	54,973	52,179	▲2,793	94.9

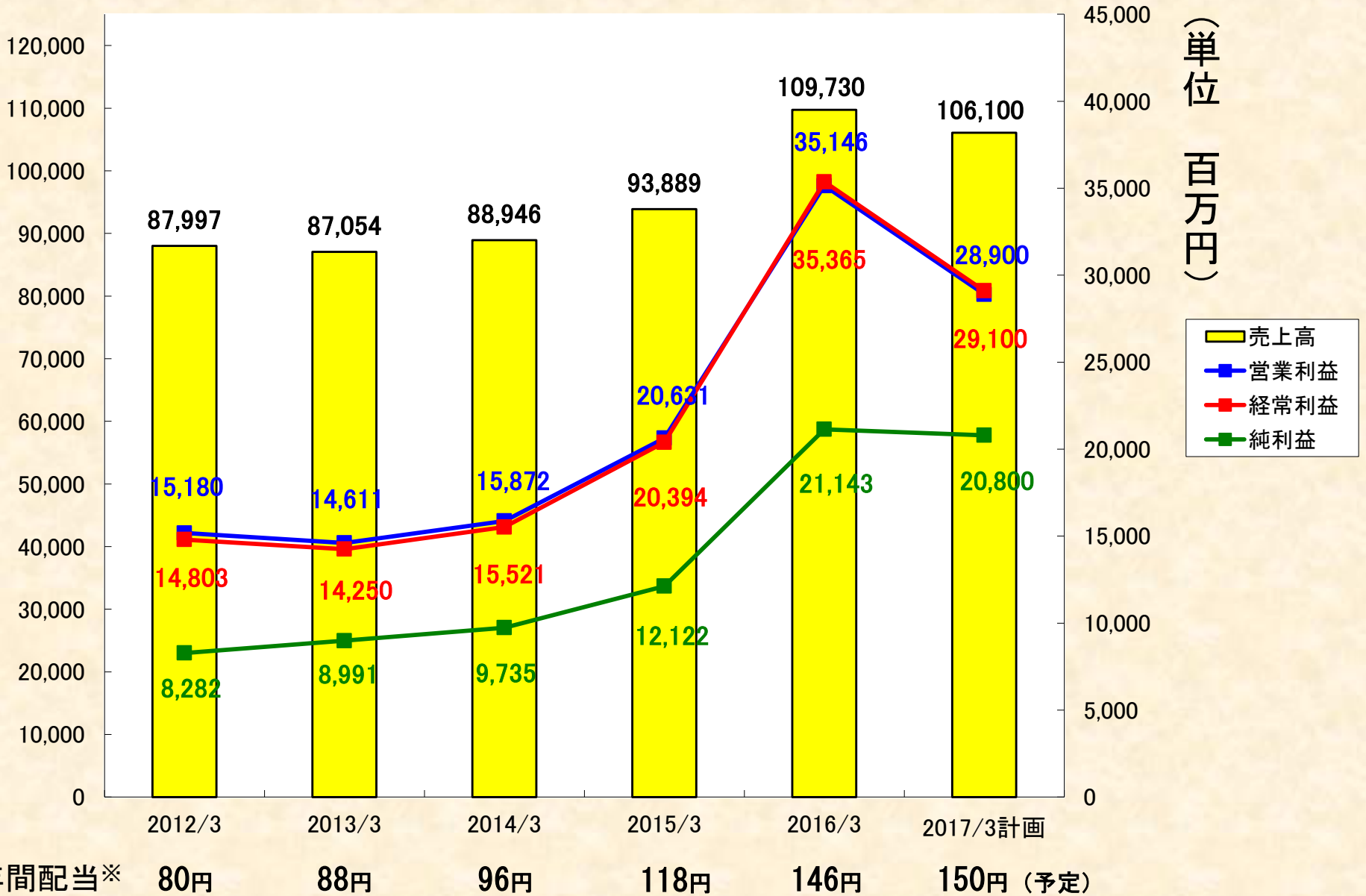
(※原体売上、製剤売上、ロイヤリティ収入、マイルストーン収入、契約一時金を含む)

医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2016年 3月期 4-9月実績	2017年 3月期 4-9月実績	前期比 (%)
アルツ	15,659	14,955	95.5
クレナフィン	9,804	11,639	118.7
セプラフィルム	5,641	5,536	98.1
リピディル	2,237	2,227	99.5
フィブラストスプレー	1,816	1,846	101.6
ジェネリック医薬品計	6,584	5,984	90.9

- ・アルツ
新製剤発売に伴う情報提供活動の強化により売上数量は伸長するも、薬価改定の影響により減収
- ・クレナフィン
外用爪白癬治療剤としての有用性に対する理解が更に進み、伸びが継続
- ・セプラフィルム
腹腔鏡下手術の増加に対して、使い易い新材形等の情報提供を強化
- ・リピディル
糖尿病合併高脂血症などに対する投与意義の浸透により売上数量が伸長し、薬価改定の影響をほぼ吸収
- ・フィブラストスプレー
熱傷診療ガイドライン等の記載内容の周知が進み、使用意義が浸透
- ・ジェネリック医薬品
売上数量が伸長している製品がある一方、全体としては薬価改定の影響により減収

業績推移(連結)



※2015年10月1日付で株式併合(2株を1株に併合)を実施しております。

上記年間配当は、株式併合後の基準で換算した金額を記載しております。

トピックス

～更なる成長に向けた取り組み～

- ・歯周組織再生剤「リグロス」の製造販売承認取得
- ・爪白癬治療剤「クレナフィン」を韓国の東亜ST株式会社に導出
- ・杏林製薬とアレルギー性疾患治療剤「デザレックス」でコ・プロモーション
- ・熱傷焼痂除去剤「KMW-1 (NexoBrid)」をメディウンド社より導入

開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	備考
1	KAG-308	潰瘍性大腸炎	P II	旭硝子株式会社と共同開発 経口プロスタグランジン製剤
2	BBI-4000	原発性局所多汗症	P II 準備中	ブリッケル・バイオテック社より導入 外用抗コリン剤
3	KMW-1	熱傷焼痂除去	治験準備中	メディウンド社より導入 外用酵素製剤 海外での製品名 : NexoBrid

2017年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 計画	増減	前期比 (%)
売上高	109,730	106,100	▲3,630	96.7
営業利益	35,146	28,900	▲6,246	82.2
経常利益	35,365	29,100	▲6,265	82.3
税引前当期利益	35,292	29,000	▲6,292	82.2
当期純利益	21,143	20,800	▲343	98.4

■ 通期損益計画は当初計画の通り

■ 販管費:30,800百万円
研究開発費:10,200百万円

■ 期末配当は75円とし、
年間150円(15期連続の増配)
を予定

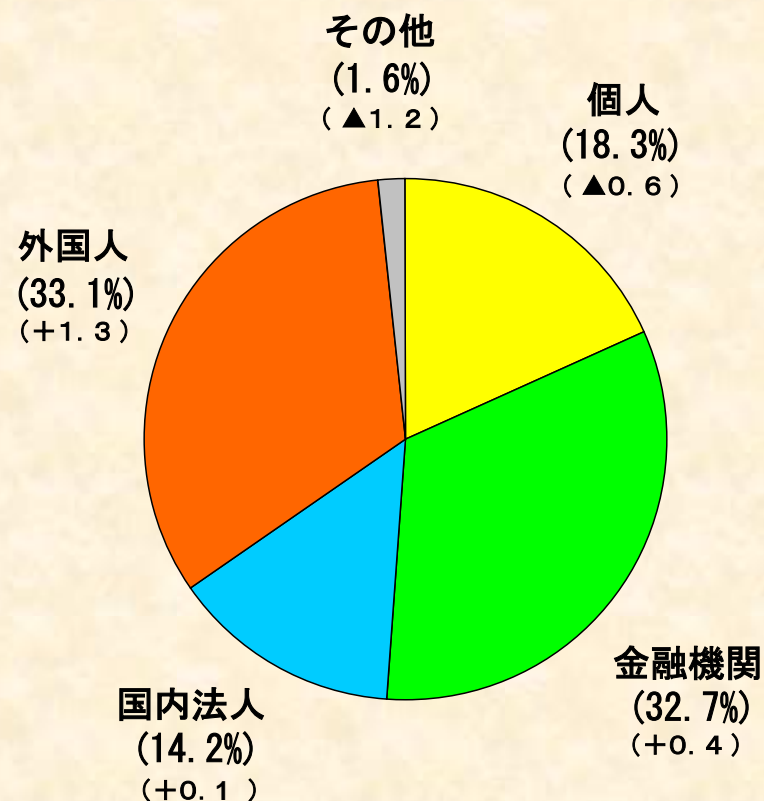
医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 計画	前期比 (%)
アルツ	30,760	29,300	95.3
クレナフィン	19,868	23,800	119.8
セプラフィルム	11,262	11,400	101.2
リピディル	4,526	4,400	97.2
フィブラストスプレー	3,617	3,700	102.3
ジェネリック医薬品計	13,292	12,700	95.5

- アルツ**
 変形性膝関節症の第一選択薬としての情報提供を更に強化し、ヒアルロン酸市場全体の拡大を推進していく
- クレナフィン**
 外用剤としての有用性を訴求し、皮膚科医の評価を更に高めると共に、新規患者の発掘に尽力する
- セプラフィルム**
 新材形を中心に、消化器外科・産婦人科への浸透率を上げていく
- リピディル**
 脂質関連ガイドラインおよび糖尿病診療ガイドライン情報の活用により、更なる拡大を図る
- フィブラストスプレー**
 創傷関連ガイドライン情報の活用により、皮膚科・形成外科への情報提供を強化
- ジェネリック医薬品**
 12月に発売予定の新製品の早期拡大と既存製品の更なる浸透に注力

大株主一覽表(2016年9月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	議決権 比率 (%)
1	東レ株式会社	2,294	5.6%
2	農林中央金庫	1,843	4.5%
3	株式会社みずほ銀行	1,474	3.6%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,397	3.4%
5	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,174	2.9%
6	杏林製薬株式会社	852	2.1%
7	ザ チェース マンハッタン バンク 385036	693	1.7%
8	日本生命保険相互会社	680	1.7%
9	BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC SECURITIES /UCITS ASSETS	651	1.6%
10	科研製薬従業員持株会	620	1.5%



※自己株式数:7,567千株